

【平成30年12月8日（土）開催分】（第2回）

説明会 開催 結果	開催日時	平成30年12月8日（土）14:00～15:30
	開催場所	会場の名称 厚木市立依知南公民館2階集会室 会場の所在地 厚木市下依知三丁目1番7号
	会場の入場可能人員 及び参加人員	入場可能人員 100人 参加人員 13人
	事業者側の主な出席者	厚木市まちづくり計画部都市計画課 厚木市環境農政部環境施設担当 厚木愛甲環境施設組合〔説明者〕 国際航業㈱
説明会の経過及び概要	14:00 開会 ・代表者挨拶 ・関係者紹介 14:05 環境影響予測評価及び説明会の趣旨の説明 14:10 環境影響予測評価書案の概要説明 (パワーポイントにより約30分説明) 14:40 質疑応答 (主な質問・要望と回答は下記のとおり) 15:30 閉会	

主な質問・要望	回答
【質問事項】	
金田の生活環境が心配である。あるジャーナリストがごみの問題について犯罪的だと言っている。立法権のある市議会に付議すべきだ。	これまで住民説明会等を開催し、住民の方々との合意形成に努めてきました。
環境影響予測評価書案はホームページから見ることはできるのか。	ホームページで見ることができます。
以前に測定したデータと今回測定したデータがどう変わっているのか、将来、計画施設が運転した場合にどう予測されるのか、重点項目について具体的に分かるような説明をしてほしい。	厚木市環境センターと計画施設からの大気の影響と濃度の比較では、計画施設は現施設よりも自主規制値をかなり厳しくしているため、十分に環境に配慮した施設となっています。
災害廃棄物一時保管場所について、ダム決壊があった場合はどうなるのか。盛土は3mで大丈夫か。	計画施設は、神奈川県が出している浸水想定150年に1回に対応する高さです。また、それ以上の対応については、重要な機器を2階に設置することや、ランプウェイ方式でゴミピットへの搬入口を2階に上げるなどの対策を講じます。
評価は調査した結果について環境基準などと比較した結果だと思うが、予測とは何か。	大気の場合、現地調査結果をバックグラウンド濃度として、煙突からの煙がどの程度拡散するかをシミュレーションした結果です。

主な質問・要望	回 答
【質問事項】	
測定はどういう測定法や測定器を使って、どういう業者が行っているか。	測定については、計量証明事業所登録のある会社が行っています。
実施計画書の説明会の際に計画施設はISO14001の取得について、事業者選定時に対応するという回答があったが、事業者任せで消極的だと思う。考え方を説明してほしい。	新しい施設は厚木愛甲環境施設組合が責任を持って運営していきます。ISOについては、ご意見を踏まえて検討していきます。
ごみを燃やすのは時代おくれ、ごみゼロへの道という流れがあるのは知っているか。	ごみの処理については技術も進歩していることから、燃やさない道も出てくるかと思いますが、燃やすごみをいかに減らすのか行政として努力をしていく方針です。